

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -29	2022/3/2	Report to Congress on Russian Nuclear Weapons	ロシアの核兵器に関する議会報告	USNI News 2022/3/2	 ロシアの核兵器に関する議会報告の要約です。	岩崎洋一
2022 -30	2022/2/21	Navy, Marines Drill with Japanese Forces in Test of New Island-Hopping Concept	米海軍と米海兵隊は「島嶼ホッピング」コンセプトを検証するため自衛隊と訓練する	USNI News 2022/2/21	 演習「ノーブル・フュージョン」で海兵隊EABO コンセプトを海自と米海軍・海兵隊が合同で検証しています。この演習は、今年後半に日本で実施予定の日米両軍による、さらに大規模な演習の前哨戦(プレリウド)と位置付けられています。	岩崎洋一
2022 -31	2022/2/25	Navy to Court-Martial Sailor Accused of Arson in 2020 Bonhomme Richard Fire; Hearing Officer Advised No Trial, Says Attorney	2020年のボナム・リシャル火災に関し海軍は水兵を放火容疑で軍法会議にかけ、審理官は裁判をしないよう助言、弁護士が語る	USNI News 2022/2/25	 米海軍は「ボナム・リシャル」火災の放火容疑でSeaman Recruit(2等水兵)ライアン・メイズをgeneral court-martial(一般軍法会議)にかけるとの起訴をしました。けれども、弁護士は「彼は単にスケープゴートにされているだけだ」と言っています。真相は藪の中です。	岩崎洋一
2022 -32	2022/3/4	U.S. Officials: Russian Forces Keeping Forces Ashore For Now, Odesa Amphibious Assault Still Possible	米政府関係者:ロシア軍は揚陸部隊を現時点では待機、オデッサへの両用強襲作戦の可能性はまだある	USNI News 2022/3/4	 タイムズ紙の伝えるところでは、ウクライナ海軍の旗艦がミコライフ構内で自沈したということです。有事になって、今までの訓練の成果も発揮できず、自沈するような海軍は哀れとしか言いようがありません。	岩崎洋一
2022 -33	2022/3/6	USAF QUICKSINK: Sudden Death For Enemy Ships	米空軍のQUICKSINK:敵艦船に突然の死をもたらす。	Naval News 2022/3/6	 米空軍研究所が航空機から陸上に投下するJDAMに安価な誘導装置を取り付けて艦船を攻撃する手法を開発したそうです。潜水艦の長魚雷並みの効果があるとしていますが、記事を読む限りかなり手前味噌なところがあります。実物が記事のとおり性能なら、「ゲームチェンジャー」でしょうが、CGアニメではなく、実際の映像で確認して評価したいところです。	佐々木司
2022 -34	2022/3/4	Did Ukraine sink its own ship Hetman Sahaidachny? Here's what you need to know	ウクライナは自らの艦Hetman Sahaidachnyを沈めたのか? 読者が知りたいのはこれだ。	Firstpost 2022/3/4	 ロシアが侵攻したウクライナでは地上戦が主に行われていますが、黒海ではウクライナ海軍の旗艦が自軍の手で沈められました。圧倒的に優勢なロシア海軍の手に艦隊旗艦が落ちてロシア勝利のプロパガンダに利用されることを避けるためです。艦長自ら手を下したとあります。ウクライナ海軍唯一の大型艦を自沈させるのは断腸の思いだったと推察します。	佐々木司
2022 -35	2020/3/4	Marines Stand Up First Marine Littoral Regiment	米海兵隊が海兵沿岸連隊(MLR: Marine Littoral Regiment)を創設	USNI News 2022/3/4	 EABO 構想のベースとなるMLRの初めての部隊がハワイで編成されました。その次は沖縄の部隊です。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -36	2016/1/1	Use of Composites as Alternative Materials in Ship Structures	船舶構造物における代替材料としての複合材料の使用(抜粋)	Alexandria University by Basem E. Tawfik 2016	  <p>6年前のエジプトの大学の造船学科の学生の修士論文ですが、複合材料の海軍艦艇、一般商船などへの適用例、また研究例について、広範かつある程度詳細に調査されています。複合材料の各種特性、船舶への用途、利点などが網羅的に記述されており、複合材料の船舶への適用を考察するうえでは、非常に参考になる文献だと思います。複合材料は、軽量化、耐衝撃性、各種シグネチャ、耐腐食性、電波兵器等の塩害防止、ライフサイクルコストなどの観点から、各海軍にて採用されていますが、その概要が本文献にてほぼわかります。ただ、本文献には記載されていますが、我が国では殆ど知られていない、我が国の先駆的な研究があるのには、少々複雑な気持ちになります。複合材料軸については、私もかつて浦賀や平塚を訪問し、詳細を伺ったのですが、未だに日の目を見ていないと思います。ただ、その着眼と成果は敬服する限りです。</p>	本山泰之
2022 -37	2022/3/10	PM drives up regional investment with 30-year strategy to secure shipbuilding future	首相は、造船の将来を確保するための今後30年間の戦略を以て地域投資を促進します	GOV.UK 2022/3/10	<p>昨年発表される予定でした、英国の“Refresh to the National Shipbuilding Strategy (NSbS)”がようやく3月10日に発表されました。同戦略の本文は80頁に及ぶため、同じく3月10日に英政府から発表された関連記事を速報します。本記事の内容は、以前ご報告した内容とほぼ同様ですが、Type 31をベースに、ポーランドに3隻の輸出計画が進行している事実を初めて知りました。</p>	本山泰之
2022 -38	2022/3/16	Russian Warships Shelling Towns Near Odesa as Naval Activity Increases in Northern Black Sea	ロシア艦艇がオデッサ近郊を砲撃、黒海北部で海軍活動が活発化	USNI News 2022/3/16	 <p>オデッサ周辺の海岸は多くの機雷が敷設されていて揚陸作戦は困難との見立てです。</p>	岩崎洋一
2022 -39	2022/3/10	Navy offers a new argument for decommissioning cruisers: They're not safe.	海軍が巡洋艦の除籍に関する新たな議論を提議: 巡洋艦は安全ではない	Defense News 2022/3/10	 <p>老齢化したTiconderoga級巡洋艦の延命近代化に海軍は反対しているようです。それにしても、艦齢30年程度の艦が水線下の区画が衝突もしないのに浸水したり、燃料タンクに亀裂が入ったりして行動を中断しなければならない状態になっているとは、日本ではあまり考えられないことです。外から見ると錆が目立つ米艦艇ですが、外観だけの問題ではなかったようです。</p>	佐々木司
2022 -40	2022/3/17	CMC Berger: Russian Logistics Failures in Ukraine 'Should Give Pause' to Taiwan Invasion Planners	バーガー海兵隊総司令官: ウクライナでのロシアの兵站の失敗は台湾侵略の計画者を躊躇させる	USNI News 2022/3/16	 <p>バーガー海兵隊総司令官によるウクライナ戦争の初期評価です。</p>	岩崎洋一
2022 -41	2022/3/22	New Videos Show Russian Navy Firing 8 Naval Cruise Missiles From the Black Sea	8発のロシア海軍巡航ミサイルが黒海から発射される新たな映像が公開	USNI News 2022/3/22	 <p>シリア内戦ではカスピ海からカリブル巡航ミサイル(俗称:トマホークスキー)がシリアに向けて発射されましたが、今回は黒海艦隊が同ミサイルをウクライナに向けて発射しました。映像からは、1隻が航行しながら8発を順次発射しているように見えます。攻撃成果はいまのところ不明です。</p>	岩崎洋一
2022 -42	2022/1/29	Lockheed Martin's Optionally Unmanned Surface Vessel (OUSV)	ロッキードマーチン装備選択方式の無人の水上艦(OUSV)	Naval News 2022/1/29	 <p>Mark 41VLSが納められた40フィートコンテナを装備した無人水上艦のモデルです。単なる無人のプラットフォームとして使用するだけでなく強襲揚陸部隊の防護や支援射撃など広い分野で活用が期待されているようです。個人的な意見で恐縮ですが、イージスアショアのプラットフォーム代替は、これで良いのではないかと思料いたします。</p>	高木康之
2022 -43	2022/3/24	VIDEO: Russian Landing Ship Destroyed in Ukrainian Port	動画: ロシア揚陸艦がウクライナの港で破壊	USNI News 2022/3/24	 <p>7時間前に投稿された、ロシア、アリゲーター級揚陸艦火災の記事です。</p>	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -44	2017/2/1	Escalate to De-escalate	エスカレートからデエスカレートへ	Proceedings 2017/2	 2017年2月号のプロシーディングス誌に掲載されたものです。これを読めば、小型核兵器の使用が現実的になっていることが分かります。	岩崎洋一
2022 -45	2022/3/15	Chinese Navy Growth: Massive Expansion Of Important Shipyard	中国海軍の成長、:重要な造船所の大幅な拡張	Naval News 2022/3/15	 上海の江南造船所が規模を拡張していますが、日本と比較すると規模が全く異なります。江南造船所は730万㎡で、これが1.5倍になるようです。参考: 旧MHI香焼120万㎡、JMU磯子38万㎡、MHI立神35万㎡	川原梅三郎
2022 -46	2022/3/25	Satellite Images Confirm Russian Navy Landing Ship Was Sunk at Berdyansk	ロシア海軍揚陸艦がBerdyanskで沈没しているのを衛星画像で確認	USNI News 2022/3/25	 テレビニュースにもなったロシア揚陸艦被攻撃に関する記事です。攻撃のあったBerdyanskはMariupolを攻略するための海上からの補給拠点だったようです。攻撃を受けたとき揚陸艦には補給用弾薬が大量に搭載されていた模様。そのため映像のように激しく爆発が起きたようです。弾薬を大量搭載した状態で攻撃を受けると艦はいかに脆弱かがわかります。	佐々木司
2022 -47	2022/3/28	US Navy wants to cut nine LCSs, eliminate their anti-submarine mission	米海軍は9隻のLCSの除籍と、その対潜戦任務を削除することを希望している	Defense News 2022/3/28	 減速装置の欠陥問題を抱える米海軍Freedom級LCSについて、米海軍は現在就役中の9隻すべてを除籍させる要求をしているようです。加えて開発中の対潜戦ミッションパッケージについても、技術的課題が解決しないことから開発を断念するようです。巨費を投じたFreedom型LCSの末路がこのようになるとは、華やかかなりし計画時に誰が予想したのでしょうか。	佐々木司
2022 -48	2022/3/29	All Freedom Littoral Combat Ships in Commission Tapped for Early Disposal	就役中のフリーダム級LCS がすべて早期の除籍に	USNI News 2022/3/29	 やはり、というべきか、米国はフリーダム級LCS をあきらめるというニュースです。ミッション・モジュールの考えも、ローテーション配員も、ロジスティックの考え方も、ご破算になりそうです。	岩崎洋一
2022 -49	2022/3/10	National Shipbuilding Strategy	国家造船戦略	National Shipbuilding Office 2022/3/10	 3月10日に発表されました、刷新された英国の国家造船戦略の全文です。これは英国が、造船業界を中心に、気候変動に伴うグリーン産業革命、デジタル技術の進展などを大きな転換材料と捉え、英国全体の産業・技術・研究開発力・技能開発力など、ありとあらゆる分野を一気に振興させようという、壮大な戦略をまとめたものです。私が感じた範囲の要約を記しますと、海軍艦艇を主とする全て政府調達船の長期建造計画と、クリーンエネルギー開発の一大目標を起爆剤にして、縦割り行政の打破を手始めに、造船、金融、教育、地方政府、研究者、技術者、労働者などを有機的に連携させ、非常に大きな成果を生み出そうという戦略かと思えます。英国の強い意志を示す、ボリューム満点の文書ですが、我が国にとっても、非常に多くの参考事項が含まれている内容と思えます。	本山泰之